

積極的に安全と健康を創造しよう

「57年度安全管理基本計画」決まる!

1月22日開催の新年役員会において昭和57年度「安全管理基本計画」をつぎのとおり決定、最近災害事例の多発傾向の折柄、57年度こそ「災害ゼロ」を目指して各地区において積極的な運動を展開しようと具体策についても計画されたので、会員全員の参加とご協力をお願いします。

「まえがき」

安全は企業経営の基盤であり、安全が確保されて初めて企業の発展が望めるものであり「人間尊重」が基本理念である。

事業主および店主はこの認識にたち、率先して安全管理・作業指導に努めることが必要である。

従業員は「自分の体は自分で守り、人に迷惑をかけるまい」という自ら勝ち取る意欲をもち、両者が一丸となって取り組むことにより始めて安全が確保できる。

57年度「安全管理計画」

はこの基本理念に基き、過去の災害の内容をふまえ、事業体で可能な施策を積極的に推進するとともに、各地区においても各種施策を展開し推進することにより従業員災害および公衆災害の防止に万全を期するものとする。

1、基本方針

災害や危険要因はあらゆる場面に潜在しており、作業者はこれを事前に予知し積極的に排除するとともに作業現場に応じた創意工夫をこらし、安全を確保することが肝要である。

57年度は「積極的に安全と健康を創造しよう」を基本目標として安全作業、安全運転の反復指導と再発防止策の徹底を図るとともに安全に関する基本事項、動作の定着化および危険予知能力の育成強化をはかることにより「災害ゼロ」をめざす。

またこれにあわせて公



三重県電気工業業組合
三重県電気工事協力会
発行人 繁田 勉
編集責任 広報委員会

おもな内容

57年度安全管理基本計画……1

青年部会「講演会」内容……2

本部のうごき……3

お知らせ……3

溶接技能訓練結果……3

各役員、委員さんご苦労さまでした……4

会員異動のお知らせ……5

事業者台帳集約結果……6~7

第三者への損害賠償事業報告……8

晴れの表彰者……9

リレー特集

名所、旧跡を訪ねて……9

地区だより……10

リレー随筆

わたしの想うこと「仕事の虫」……11

労働保険のお知らせ……11

計報……12

衆、交通災害の防止を計る施策も積極的に推進する。

2、具体的実施内容

(1) 各事業体が主体となって推進する事項

事業主、店主は率先して安全に関する範を示すとともに不安全行為に対しては毅然とした態度で指導し、愛情をもった厳しい指導を実施する。

また従業員は安全上の決められた事項を遵守し、自らの災害防止に努める。

ア、作業災害の防止

① 作業出発前、店主による安全留意事項の指示徹底
② 作業前TBMの実施
(安全上の留意事項の指適)

③ 無際落柱上安全帯(補助胴綱)の確実使用
④ 保安帽(計器の活線作業時の安全マスクを含む)の完全着用

⑤ 作業時の正しい服装、作業手袋の使用
⑥ 保護具、防具の確実使用

(ホ) 高所作業(柱上および梯子上の作業等)、道路上作業時の監視の確実実施および安全標識の確実使用

(ニ) 安全な作業足場の確保(梯子、脚立等の安定した使用)

(ケ) 屋根上等の高所作業時における安全帯あるいはロープの確実使用

(コ) 店主による作業現場安全指導実施

⑦ 店主による災害事例防止対策の周知徹底

イ、交通災害の防止

⑧ 交通法規の遵守はもとより常に周囲の状況に即応できるゆとりのある運転を行なうなど防衛運転を徹底し交通災害の絶滅を期する。

⑨ 交差点での一時停止または徐行の励行
⑩ 速度違反の絶滅

⑪ シートベルトの着用
⑫ 公衆災害の防止

作業にあたっては、常に公衆・車輛の通行など周囲

の状況に留意し標識類の設置、作業時の監視および作業の後片付けを確実に行ない公衆災害の防止をはかる。

(2) 各支部、地区が主体となって推進する事項

事業主、店主をはじめ従業員の安全意識および知識技能の向上をはかるため、各支部、地区においてつぎの事項を推進する。

ア、安全推進会議を中心とした安全意識の高揚および基本事項の定着化

イ、災害発生時の報告および事例に基づく再発防止対策の検討、教育の実施ならびに周知の徹底化

ウ、店主および安全推進委員による安全パトロールの実施と不安全行為に対する指導、ならびに安全作業の指導

エ、スライド等使用の研修会、講習会および昇柱訓練等の実務訓練の開催

(別表2ページ)

米沢会長を迎えて

「青年部会」講演会を開催

二月九日、津市・タカノビルに於て青年部会設立記念講演会を開催。

工組役員代表と青年部会役員、会員約35名が参集、熱心に聴講のあと活発な意見交換を行なった。

当日は米沢全日電工連会長が非常に多忙な日程をさして日帰りで来県され、全日電工連の青年部に期待する目的を卒直に訴えらるとともに力強い励ましの講演であり参会者一同に深い感銘を与えた。



米沢全日電工連会長の講演

米沢会長の講演要旨はつぎのとおり。

業界の後継者の集りである青年部会員に対し、まず業界のこれまで歩んできた歴史を分析紹介、戦後の混乱時期に会員のお父さん、先輩組合員の非常な努力により大同団結して組合を形成、目覚ましい活躍の成果として現在の士法、業法の制定を実現、現在の業界が発展し、一応の社会的地位も確保するに至ったものである。

戦後急速な成長を遂げた業界ではあるが、その経営基盤の格差の著しいのも、また特異な業界である反面努力すればいくらでも仕事のある業界ともいえる。

であり、現在のような低成長期の不況時代となると、この体質を続けることは非常に危険を感ずるものである。

電気四法により営業権、施工基準、従事者資格、取扱用品にいたるまで、全て法規制される商売は他に例を見ない特殊業界であり、それだけ技術の高さが誇りであり、強く要請されるところである。

電気工事業界で従来のような住宅関連工事のみで満足しては進歩発展は望めない……折角の高度な技術を付加価値の高い仕事に努力すべきであり、常に勉強が必要ではないか……。

しかし組合員の実態は、大半が住宅関連工事のみに依存して成長してきたもの

員一人一人の信頼関係の築きあげが如何のみであり、努力次第ではいくらでも可能な分野であり、実現している実例は多い。

このように現代は発想の転換により「お客さまは何を望んでいるか」を常に考え、勉強し、先取りする努力をすべき時代である。

青年の若さの特権でもある行動力、何んでも吸収しようとする進取の心組みで大いに奮起し勇気をもって決断と実行あるのみである。

重ねて強調すれば、卒直にいうと現在に満足している方が余りにも多いのではないか……満足しては

安全管理実施項目の具体的計画 (別表)

項目	開催回数	内容	対象
安全推進会議	期1回以上	安全推進のための具体的実施方策指導方法について検討	各地支部
災害事例検討会	発生の都度	発生した災害をテーマに類似事故の再発防止対策の検討と対策の周知徹底	同上
昇降柱訓練	期1回	無墜落柱上安全帯の使用 昇降柱の手順	引込委託店 全数
安全作業訓練	期1回以上	安全標識の使用、正しい服装、保護具の着用、保護具、防具の使用について	会全員
防具・保護具の点検	期1回	保安帽、高低圧ゴム手袋、ビニールシューズの点検、始業時の目視点検の定着化	〃
危険予知訓練	年1回	危険予知イラストを活用して訓練安全スライド等を使って安全の心構えについて指導	〃
救急法訓練	年1回	指導員により救急時の措置方法について指導を受ける	〃
合同パトロール	期1~2回	安全推進委員を主体に作業現場の安全パトロールを実施し、個別指導を行なう	〃
引込線工事訓練	年1回	引込線工事の正しい工事方法、安全作業について	新規委託店

発展進歩はないのである。行動を起し、行動に参加することに青年部の意義があり、若い方々の行動力に全日電工連としても非常に期待しているものであり、その成果でもって喜んで次に引継ぎできる業界実現を真に願っているものである。今日まで努力してきた先輩に報いるためにも、また業界が直面している、政

治的課題解決等のためにも青年部の皆さんの一大奮起と活躍をお願いする。

現代のような不況時代こそ、自ら勉強し努力され、持てる技術を最大限に活用して強い経営基盤を早く築かれたい。

「行動するのが青年であり、青年部の団結の力を大いに発揮されたい」と結ば

本部理事会

委員会などのうごき

- 57・1・22(金) 理事会 (23名出席)
- 加入、変更申込みの承認
- 57年度安全管理基本計画承認
- 小規模工事の処理促進
- 青年部会の発足報告
- 事業者台帳の活用整備
- 政治連盟支部、決算報告承認
- 中電持株会、中間報告
- その他
- 57・2・2(火) 経済(委) 小委員会(5名出席)
- 工量制用紙(電灯工事)の見直し制定について
- 57・2・6(土) 青年部会幹事会(8名出席)
- 事業報告
- 事業計画の推進について
- 記念講演会開催について
- 通常総会日程(案)について
- 57・2・9(火) 常任理事会(5名出席)
- 全日電工速賦課金について
- 雇用モデル団体について
- 総会日程(案)について
- 57・2・15(月) 経済委員会(13名出席)
- 工量制見直し結果について
- 56年度事業報告
- 57年度事業計画(案)について
- その他
- 57・2・19(金) 厚生委員会(19名出席)
- 労災保険事務組合について
- 全日電工連関連事業について
- 第三者賠償保険について
- 56年度事業報告
- 57年度事業計画(案)について
- 57・3・5(金) 技術委員会(14名出席)
- 56年度事業報告
- 57年度事業計画(案) 他
- 57・3・12(金) 理事会(21名出席)
- 加入・退会・変更承認
- 総会日程(案)について
- 雇用改善モデル団体について
- 全日電工連関係報告
- 各委員会報告
- その他
- 57・3・17(水) 広報委員会(8名出席)
- 会報3月号校正
- 56年度事業報告

お知らせ

「電気設備技術基準」

57.2.16改正、即日施行

通商産業省は電気設備に関する技術基準を定める省令および告示の一部を57・2・16付で公布、即日施行されました。

今回は51年11月以来、約6年ぶりの改正で、条文にして省令一〇三条、告示二七条に及ぶ全般的の見直しとなっております。

電気材料の開発、新施工方法の採用等、電気技術の進歩に対応するとともに許認可手続きの簡略化、保安対策の充実などが図られているもので、今後技術委員会を中心に改正理由、改正点の解説等、各地区で積極的な研究会等を計画いたしますので、会員のみならず、一日も早い習熟理解により完全施工にご努力をお願いいたします。

昭和57年度

電気工事士試験日程

6	合格発表	57・8・5(木)
5	技能試験 会場 県消防学校	57・7・23(木)
4	筆記試験合格発表 尾鷲事務所	57・6・10(木)
3	筆記試験 会場 津西高校	57・5・23(日)
2	願書受付	57・4・19(月) 57・4・23(金)
1	公示	57・3・26(金)

昭和57年度の電気工事士試験日程は、つぎのとおり予定されています。

溶接技能訓練結果

ガス溶接：二七一名
アーク溶接：三九九名
受講

可燃性ガスおよび酸素を用いて行なう金属の溶接、溶解または加熱の作業に従事するものは「労働安全衛生法」第61条および同法施行令第20条により、職業訓練法第24条第1項の認定に係る職業訓練を終了した資格を証する書面を携帯することが義務づけられています。

アーク溶接については、現在のところ特別教育訓練受講が当局より「しようよう」されているところであり、現在電気工事業界においても建築の多様化に伴ない溶接業務は必然的に取扱っているのが実態であり、これまで個人的に資格を取得していましたが、技術委員会の56年度事業として既報のとおり各地区での希望者を募集いたしましたところ八七九名の多数の方々の希望申込みがあり、県下各職業訓練校に特別コースの設定を依頼し56年4月以降、各地区で積極的に推進の結果別表のとおり多数の方が受講され、有資格証または修了証を取得されました。

折角身につけた技能を今後大いに活用され、作業時には資格証を必ず携帯され、自信をもった安全確実な施工をお願いします。

受講状況結果 (別表)

支部・地区別	アーク溶接科				ガス溶接科			
	回数	申込	受講	率%	回数	申込	受講	率%
津・松阪支部	4	158	107	67.7	2	89	68	76.4
伊勢支部	8	167	142	85.0	8	113	93	82.3
四日市支部	6	133	95	71.4	5	113	81	71.7
尾鷲地区	1	58	55	94.8	1	48	29	60.4
合計	19	516	399	77.3	16	363	271	74.7

会員異動のお知らせ

57年1月以降の会員異動は下記のとおりです。
名簿への追記修正についてよろしくお願ひします。(事務局)

Table with columns: 地区別, 種別, 新旧, コード番号, 商号, 代表者, 住所, 電話番号, 郵便番号, 登録届出申請番号. Contains detailed membership change records for various regions like 上野, 名張, 四日市, etc.

三重県電材卸商組合

- (有)日新碍子製作所 南三重ナショナル特機(株) 三重菱電機(株)
大成電機産業(株) (株)扇港電機商会 三重東芝電設(株)
四日市名神(株) 三愛電機(株) 国際電気工業(株)

事業者台帳集約内訳表 (1)

(57年1月調査)

56年度からの新事業として発足した「事業者台帳作成規約」制定に伴ない各地区会員の協力により提出いただいた台帳について、その後、各種事業推進の基礎資料として最大限に活用をはかっております。

従来は必要項目をその都度調査せざるを得なかったこともこの台帳整備登録事項については、常に適確な資料が集約されることとなり今後各委員会事業推進など全てに非常に参考となることと思っております。

一部未提出の方もありましたが主旨をご理解賜わりぜひ全員の協力をお願いいたします。

なお今後とも資料の確実性向上のため毎年4月現在で見直しすることとなっておりますので異動のある事業所につきましては各地区事務局まで修正分のご提出をぜひお願いいたします。

今回は各地区別に集約した内容をお知らせいたしますが、常に適格な台帳整備によりこの他にいろいろな集約も可能でありますので、台帳記入内容、異動修正等についての連絡、ご協力を重ねてよろしくお願いたします。

事業者台帳の集約結果

地区別	調査数	従業者別事業所内訳										法人事業所数	電気工事士有資格者名	電気工事士経験年数				(二輪車持揚) 半輛台数
		1~3人	4~5人	6~10人	11~20人	21~30人	31~40人	41~50人	50人以上	2年以下	3年以下			4年以下	4年以上			
津	95	51	26	12	5						28	235	9	21	6	199	(45)台 349	
久居	40	24	11	4	1						7	74	4	1	1	68	(17)台 143	
上野	63	40	16	6	1						13	138	3	3	4	128	(38)台 193	
名張	25	16	5	3							4	66	2	6	1	57	(16)台 102	
津支部	223	131	58	25	7			(1)			52	513	18	31	12	452	(116)台 787	
松阪	124	77	29	8	8			(1)			20	264	8	10	7	239	(46)台 402	
大台	28	23	5									44		1	2	41	(16)台 83	
尾鷲	42	30	7	3	2						5	83	1	2	2	80	(22)台 125	
松阪支部	194	130	41	11	10			(1)			25	391	9	11	11	360	(84)台 610	
伊勢	110	70	21	12	2					(3)	26	286	16	18	12	240	(59)台 407	
鳥羽	20	17	3								3	34	1	1	1	31	(13)台 58	
鶴方	39	23	7	7	(1)						8	92	4	1	7	80	(25)台 156	
伊勢支部	169	110	31	19	(1)			(3)			37	412	21	20	20	351	(97)台 623	
四日市	141	62	39	19	14						53	539	24	22	19	474	(42)台 621	
富田	26	11	10	3	1						8	85	2	1	4	78	(11)台 120	
桑名	43	16	15	7	2					(1)	18	164	4	7	9	144	(14)台 190	
員弁	37	26	9	2							2	58		1	1	56	(5)台 98	
鈴鹿	52	32	11	5	2						12	135	1	3	7	124	(14)台 216	
亀山	35	23	11								7	67	1	2	1	63	(16)台 114	
四日市支部	334	170	95	36	20			(1)		(1)	100	1,048	32	36	41	939	(102)台 1,359	
合計	920	541	225	91	(1)			(1)		(4)	214	2,364	80	98	84	2,102	(399)台 3,379	
構成率		58.8%	24.5%	9.9%	4.5%			1.3%		0.3%	23.3%	59.2%	3.4%	4.2%	3.5%	88.9%	(0.4台)	
一店平均												2.6人					3.7台	

事業者台帳集約内訳表 (2)

(57年1月調査)

地区別	高圧工事 有資格者 名	消防設備 士有資格者 名	保守技術 員有資格者 名	車輦免許 有資格者 名	従事者数 (含店主)							従事者(家族)		従業者			
					総 名	20歳以下 名	30歳以下 名	40歳以下 名	50歳以下 名	60歳以下 名	60歳以上 名	男 名	女 名	計 名	男 名	女 名	計 名
津	29	78	64	328	403	5	79	120	112	64	23	116	52	168	213	22	235
久居	10	17	25	101	148	4	20	49	45	19	11	52	26	78	63	7	70
上野	11	44	59	158	212	1	36	62	57	39	17	88	33	121	77	14	91
名張	1	17	19	90	103		21	40	25	14	3	30	20	50	50	3	53
津支部	51	156	167	677	866	10	156	271	239	136	54	286	131	417	403	46	449
松阪	25	70	89	362	462	10	84	166	110	61	31	166	67	233	218	11	229
大台	10	7	22	58	72	1	16	22	16	9	8	41	19	60	12		12
尾鷲	3	19	35	106	146	3	36	54	37	10	6	51	30	81	62	3	65
松阪支部	38	96	146	526	680	14	136	242	163	80	45	258	116	374	292	14	306
伊勢	24	78	54	380	457	11	118	156	106	50	16	144	47	191	252	14	266
鳥羽	1	11	10	37	50	2	12	13	9	6	8	26	9	35	15		15
鵜方	4	30	25	129	153	2	33	57	35	18	8	54	22	76	74	3	77
伊勢支部	29	119	89	546	660	15	163	226	150	74	32	224	78	302	341	17	358
四日市	102	168	130	698	886	21	186	295	199	138	47	202	91	293	539	54	593
富田	12	23	31	81	159	5	27	48	39	32	8	35	19	54	91	14	105
桑名	29	44	73	238	293	3	60	102	66	45	17	61	36	97	185	11	196
員弁	18	20	31	78	103		16	32	19	28	8	58	26	84	17	2	19
鈴鹿	24	32	40	187	229	2	35	80	62	33	17	69	28	97	124	8	132
亀山	13	22	29	87	117	2	19	52	17	18	9	45	28	73	40	4	44
四日市支部	198	309	334	1,369	1,787	33	343	609	402	294	106	470	228	698	996	93	1,089
合計	316	680	736	3,118	3,993	72	798	1,348	954	584	237	1,238	553	1,791	2,032	170	2,202
構成率	7.9%	17.0%	18.4%	78.1%	-	1.7%	20.0%	33.8%	24.0%	14.6%	5.9%	31.0%	13.9%	44.9%	50.9%	4.2%	55.1%
一店平均	0.3人	0.7人	0.8人	3.4人	4.3人									1.95人			2.39人

第三者への電気工事に伴う「損害賠償補償事業報告」

(厚生委員会)

三重県電気工事業共済会の事業である本業務について昨年度実績(55/11~56/10)がまとまりましたのでご報告とともにご参考にご供したいと思います。

56年1月号の会報でお知らせ申しあげましたとおり手続き、条件の一部改訂以来、各地区委員始め事務局の活発な活躍により昨年度は別表のとおり発生件数、補償額とも非常に減少例年以上の成果をあげております。中には事故発生ゼロの地区も六地区を数えており、会員皆様方のご協力の賜と深く感謝しております。

勿論、不幸にして事故発生に際しましては、委員会として全力傾注をしておりますが、昨年度事例にもありますとおり誤結線、引込工事、天井配線工事、高所作業時の落下物による物損など類似的な事故が発生しております。特に注意をお願い申し上げます。あけたいことは、工事完了後のスイッチ未確認による損害額の大きいことなどチェックした不注意が大きな事故となっております。

施工後の自主点検確実励行など一段のご注意をお願い申し上げます。

なお発生時の報告手続きの早期化が本事業の推進、解決などの成果に大きく寄与いたしますので、よろしくお願いいたします。

第三者賠償補償事故発生状況 (55年11月~56年10月)

No.	地区名	事故発生月日	補償額	事 故 内 訳
1	四日市	55.12.15	14,500	引込線工事中電線落下により駐車中の車のボンネット損傷
2	鈴鹿	10.15	145,056	計器取替え工事後、冷凍食品が解凍し商品に被害を与えた(スイッチの確認忘れ)
3	上野	11.17	87,700	変電所工事中誤結線により機器に被害を与えた
4	津	56.2.19	43,000	配線工事中、足を滑らせ天井板破損
5	鳥羽	4.14	10,000	蛍光灯取替工事中、ウインドケース破損
6	上野	4.15	32,000	電柱運搬時誤ってカーブミラー破損
7	四日市	4.30	549,725	漏電ブレーカー中線ネジ締付不良により200Vが流入機器焼損
8	松阪	4.7	45,000	コンセント取付工事中誤って隣家へ貫通、タイル破損
9	四日市	5.19	25,000	配線工事中脚立にて鴨居を損傷させた
10	松阪	4.22	363,100	防霜ファンの誤結線により霜害発生
11	〃	5.21	65,200	引込線改修工事で誤結線により200V流入、機器焼損
12	富田	6.13	303,000	冷蔵庫の送風機取替工事で、スイッチ解放、放置のため、ガス電源が入らず不燃焼となり製品不良となった
13	鶯方	6.14	71,060	キュービクル内工事の際誤結線により機器焼損
14	桑名	6.23	115,150	外部換気扇取付工事中、ローリングタワーを落下させ、ウインドガラス破損
15	上野	6.28	56,640	窓用クーラ工事中、窓わくを落下させ、駐車中の車に傷つけた
16	桑名	8.3	660,000	電動クレーン工事後、スイッチ点検中、ストッパーがきかず本体を破損
17	鶯方	8.10	160,500	引込線張替工事中誤結線により200V流入機器焼損
18	鈴鹿	8.18	62,448	天井配線工事中、プラスチックボード天井板および照明器具破損
19	津	7.19	95,000	51.10.8 施工分のネジ締付不良により欠相となり機器焼損
20	松阪	9.11	25,000	天井配線工事中、金槌を落下させ、冷凍ケースのガラス破損
21	亀山	9.29	18,900	引込線位変工事中、ステップを強く打ち、線がショートし200V流入機器破損
22	鈴鹿	8.2	55,000	天井埋込器具取付のため切込中、アーク溶接の火花によりガラス破損
23	〃	9.19	20,500	天井配管工事中塗装ペンキをこぼし損傷
24	四日市	10.19	59,500	天井配線工事中足を踏み外し天井板破損
25	津	7.16	70,000	ケーブル工事中、レッカー車にて庇を破損
26	名張	10.7	155,000	抜柱作業中誤ってガス管損傷

誤 結 線

シマッタでは
済まぬ
プロの恥

年度別賠償補償推移

年度別	発生件数	補償額	掛 金	損害率
51/11~52/10	33件	4,004,200円	3,523,981円	113.0%
52/11~53/10	37	2,529,340	4,323,981	58.5
53/11~54/10	33	5,345,409	5,062,550	105.6
54/11~55/10	52	10,177,099	5,129,582	198.4
55/11~56/10	26	3,307,979	5,368,841	61.6

晴れの表彰者

56年度内に組合員ならびに従業員で晴れの表彰をうけられた方々はつぎのとおりでした。それぞれの部門での功績による栄えある受彰であり、組合員のみならず共々あらためてお祝い申しあげます。

○56・5・13

(中部厚生年金基金理事長感謝状)

(設立功勞)

津地区 繁田 勲氏

(運営功勞)

四日市地区

伊東直作氏

織田雅夫氏

上野地区

山本猛虎氏

津地区

坂本 晃氏

○56・5・20

(三重県電気工事業工業組合理事長表彰)

(共同保守管理推進特別功勞)

四日市地区殿

○56・5・28

(全日電工連会長表彰)

津地区

繁田 勲氏

(永年役員功勞) 津地区 市川忠男氏

○56・10・6

(三重県知事表彰)

(優良組合)

三重県電気工事業工業組合

○56・10・16

(三重県知事表彰)

(永年役員勤続)

津地区 繁田 勲氏

四日市地区 伊東直作氏

(三重県中小企業団体中央会会長表彰)

(永年役員勤続)

鳥羽地区 上村 静男氏

鈴鹿地区 中西陽太郎氏

松阪地区 角谷 利夫氏

上野地区 山本 猛虎氏

(会長理事長表彰)

(従業員永年勤続)

15、20、25、30、35年勤続者三五九名

○56・11・20

(協力会連合会々々長表彰)

(永年役員勤続)

津地区 繁田 勲氏

四日市地区 伊東 直作氏

鳥羽地区 上 村静男氏

鈴鹿地区 中西陽太郎氏

松阪地区 角谷 利夫氏

上野地区 山本 猛虎氏

○56・11・27

(名古屋通産局長表彰)

(電気保安功勞)

津地区 蔭田 正幸氏

尾鷲地区 咲川 秋生氏

「名所、旧跡を訪ねて」

リレー特集

県文化財 泰運寺の八角の大釣鐘

松阪地区 河村 肇

松阪より一六六号線を西へ五十六キロ、波瀬(ナガノエダ)に沿い杉松の美林をぬって、なだらかな山路を約二キロ登ると見事な湖葉林に囲まれた、ご利益あらたかな慈母観世音として知られている曹洞宗天開山泰運寺があります。この寺は元文初年泰運禪師の開山で山紫水明の霊地です。

鐘樓の八角の大釣鐘は、

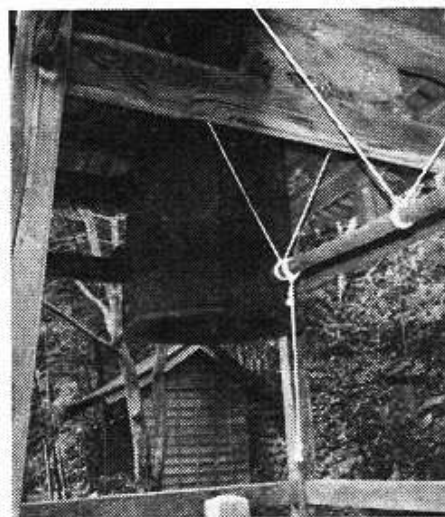
高さ二メートル四二、口径一メートル三六、重量四トン八七で各面に法華経一巻ずつ計八巻、総字数、実に六万九千三百八十四文字が刻まれています。内面には、天開山泰運寺記、寄進者、鑄工、彫刻師、撞初儀式等が詳細に記されており、これによると、天明の昔、泉州佐野庄、食野(めしの)次郎左衛門の娘が、天下の

富豪三井家に嫁つのだが子無しであったため、この泰運寺の子安観音に祈願して一子が授かった縁故によるものです。

また天明三年(一七八三年)三月十八日鑄造にかかり天明五年十月に撞初式を挙行し導師は二代目泰宗大和尚。寄進者の筆頭が泉州佐野庄、食野次郎左衛門、宮前、堀内利左衛門、波瀬

田中彦左衛門の名もみられます。鑄工は伊勢津の住、辻越後、藤原種茂、辻但馬、藤原吉種、彫刻師は美濃関、後藤利右衛門宗茂と記されています。

また上部の八大竜王は大阪の内藤近江大塚、藤原字厚の作、鐘内の銘文は内藤治左衛門、藤原政宗の彫刻であり、共に撞初式後に附加されたものである。



八角の大釣鐘



〔所在地案内〕
国道一六六号線、波瀬小学校附近より北へ約一・七km入る(奈良県境、高見峠の手前)

このかねは桑名鑄物師として著名の中川祐次氏によって昭和二十七年にNHKにより録音放送したことも

あり、昭和二十八年五月七日に県文化財の指定をうけています。中川氏の説によると、この鐘の特徴は、鳴り音、老越調、余韻十秒に二、三回の押し約二分間笠の上の竜が鳴く仕掛けであるといわれています。またこの釣鐘については寺の境内で鑄られ、銅三ト二二、六、錫三〇〇キロ、文銭五六二キロ、鉄三〇〇キロ等が用いられ、「タララ」を百二十名に踏ませて銅を溶したなどの記録が残っています。

(次号は津支部でお願いします)

地区だより

■ 松 阪

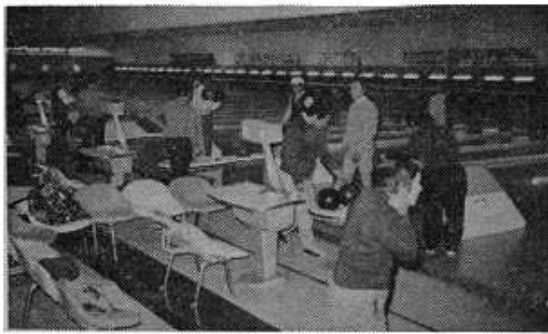
◎五十七年度臨時総会を左記の通り開催
一月八日電気会館

来賓として中電柳松阪営業所々長を迎え浜中所長の年頭の祝辞を受け、ついで左記の議事を決議した。

先ず角谷支部長より本部報告事項
一、三重県電気工事業工業

■ 鈴 鹿

不況にあえいだ五十六年のうさばらしに、いつもやっていない、忘年会を、十



年忘れボーリング大会



宴会前に賞品の授与

組合青年部会の設立についで
二、昭和五十七年電気記念日に満八十歳以上の電気関係功労表彰者推薦について

三、共同保守管理業務の推進について
議案第一号

三重県南勢電設協同組合「慶弔規程」案承認について

議案第二号
三重県南勢電設協同組合「就業規則」案承認について
◎二月八日、九日
保護具防具及び計測器類定期検査実施
持込み試験数 六四一点
受験店舗 七一店
◎二月十五、十六、十七日
中期安全パロール実施
中電職員 六名
協力会役員 一〇名
現場指導 二十八件
店舗(事務関係)二十五店

二月十五日に定例会終了後に盛大に今年はやろうと、いうこと事で、ボーリング大会と宴会を兼ねて、カラオケ大会を行いました。ボ

ーリング大会は抽せんにより、同じ番号の者で、ペアを組み2G合計トータルで、優勝、準優勝、3位。そのほかに飛賞、全員に

参加賞であらそいました。結果、年寄組の中西陽太郎さん、出口昭義さんの組が優勝しました。なお、カラオケ大会には二十四名が出場し課題曲と自由曲とに分け、あ

った。結果課題曲部門では小林電気さん、自由曲部門では小野電気さんが優勝しました。歌手ばかりで甲乙つけがたく、皆さんが上手なのに聞きほれて、一時は審査員の方も点数をつけるのを忘れるぐらいでした。審査は4名の審査員の合計点数により決定、そのほかに準優賞、ユーモア賞、敢闘賞、ハッスル賞、熱演賞、努力賞、盛りたくさんの賞品をきそい合ひ、日頃自慢ののどを開かせていただき、不況もどこかへ飛んでいったのしい忘年会が出来ました。

■ 亀 山

「配線設計の実務と積算入門」の講習を開催！
先日林理事、柴田地区長をリーダーとする積算入門の講習会を行った。

工事量の激減する現状にある小規模工事店は如何にして売上高を伸ばすか四苦八苦している現状である。従来の「どんぶり勘定」では信頼性も薄く、又利益すらわからないまま結局赤字を出す危険になる。この際堅実な設計、積算(見積り)により、この工事数が減っている昨今に充実した中身を考へなくてはならない。全部自分で積算をして

信頼のおける工事店に盛り立てなければならぬと思つた。講習は、配線図の基本
積算の入門
積算の実務
の順に:

小規模工事店においてのその諸経費等を重点的に、時間をかけて話し合ひを行

■ 鈴 鹿

「祝」創立五周年



記念式での従業員表彰

鈴鹿電気工事業協同組合は昭和五十一年十月に会員四十三名にて協同組合を設立、同時に延べ七十坪の会館を建設、法人団体として発足致しました。階下二〇〇坪の駐車場と倉庫、二階は収容人員八十名の大会議室と事務室、応接室、炊事室等を設け近代的な立派な会館です。
会員の皆様が良く多額の

た。例題として、30坪一般住宅の新築の場合の積算のやり方等……それぞれの建築等の進捗状況にもよるので、非常にむづかしい問題がある。

今後経済委員会の資料にもとずいて、来月も統いて勉強会をやる予定である。

出資金にも、一人の反対もなく御協力していただいたなあ！と思います。全員の協力があったからこそ、今日の鈴鹿電気工事業協同組合が誕生したのである。盛大に五周年を記念して、二月十日の総会に於いて、永年勤続者(従業員)の表彰と組合のシンボル「マーク」と店名、そして横線を入れたヘルメットを記念品として各店一個づつ配布致しました。総会終了後五時より記念パーティを盛大に開催。大きく伸びゆく世界の

大空に向って、よりよい明日の電気工事を約束する。鈴鹿電気工事業協同組合。その後ヘルメットについては皆さんの好評を得て、各会員より従業員のかずだけ追加注文があり、鈴鹿地区では揃いのヘルメットでの作業姿が一段ときわだつと思ひます。

「リレー随筆」わたしの想うこと

「仕事」の「虫」

津地区山口亀一郎

「仕事の虫」……感覚的には判るが、理論的には理解しにくいので辞書を開いてみた。「仕事の虫」としての内容は見当らない。

「仕事」とは①はたらくこと。②職務、職業、仕事につくこと。③すること、やること。④物を動かすこと。⑤物をつくること等となっている。

「虫」とは人類、獸類、鳥類、魚介類以外の動物の総称となっている。

この虫に対する接尾語としていろいろな表現が出ている。

○泣き虫、弱虫 (軽べつの意味)

○虫がいい

(自分の都合ばかり考えて他をかまわない)

○虫が知らず

(予感がする。前もってそういう感じがする)

○虫が好かない

(理由なく、なんとなくいやである)

○虫がつく

(虫がたかって物を食い荒す。娘に男ができる)

○虫の居所が悪い

(ちょっとしたことでも気にさわり腹立たしい)

○虫を起こす

(子供の体質が弱くておこるかんしゃく。何となく感じを呼びもどす)

○虫も殺さぬ

(温和な性質の形容)

○虫を殺す

(腹が立つのをおさえて我慢する)

等、たくさん表現から推理すると、「仕事」、「虫」の両言を合せての意味は良否相半ばするが私は「我慢する」という解釈をとりたい。

しかし我々の世代(私は59才、大正生れ)では、これらに評価される人物をこのほか尊敬し、頼もしく思われ自分もそうしたいと努め、これからもそうありたいと思っているが、現代風に批判すれば、自己的排他的、強欲という酷評が

若い人々から出そうである。

同様、友人からあいつは仕事本意で金の亡者で、まるで「仕事の虫」みたいでつき合いが悪いやつ、女房、子供からは何処へも連れていってくれない、遊んでくれない、家族の気持ちなんかちっとも判らない面白くないパパであり親父である。

昭和生れの者は当時の風

潮から人物評価をし、大正明治生れの者はその当時の風潮から人物評価するのは自然というか、仕方がないにしても、人間本来の持つ善と悪の感情から出た道理情理は人々が永く生きてきた歴史の中より真理的、必然的に、にじみ出てきたもので、時代が如何に変わろうと大切に育て、後世に伝え残していく義務がある事を我々は改めて自覚し若い人たちはこれを判ってもらいたいものである。

日々厳しくなっている経済状況下、この様な人物がいかにか貴重で得がたいものか、経営当事者なれば痛感するのは私一人ではないと思われます。

若い世代はともすると古風な昔気質を、いみ嫌いなべつする風潮がある。

忍耐、質素、貯蓄、物の大切さが、如何に貴重で得がたいものかを忘れかけているのは心淋しく思われる。

若し人達が魅力を感じる人物像はセンスが良い、格好が良い、服装が良い、持ち物が良い、スポーティでダンディでキャンブラーで羅列すればきりが無い。

当事者達は良く判っていることと思われる。考えて見れば、レジャーに必要な条件ばかりではないだろうか。それはそれなりに必要で悪いとは思われないが、我々職人が目を向けて

この様な人物が、我々零細企業を底から支える裏方さんであることは忘れてはならない。

苦しい事、困った事、悲しい事は自分みずからが、底力をふりしぼって受けて立つ人間になりたいものである。(次号は松阪支部でお願います)

事業主のみなさんへ

※労働保険料の申告・納付はお済みですか※

一申告・納付期限は5月15日までです

労働保険(労災保険・雇用保険)の保険料は、事業主が年度初めに概算額で申告・納付し次の年度に確定額を申告して精算する仕組みになっています。

昭和56年度の確定保険料と昭和57年度の概算保険料の申告・納付は5月15日までです。まだ手続きをされていない事業主の方はお早めに済まして下さい。

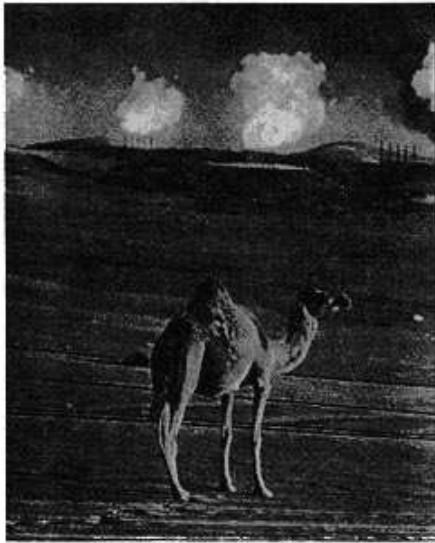
なお、昨年10月から労働保険適用・徴収業務の迅速、効率化を図るため、OCR(光学文字読取装置)を導入し、新システムとして実施しています。

つきましては、保険料申告書・納付書等の届出、帳票類は、汚損したり、穴をあけたりしないよう、また記入にあたっては、説明書を良くお読みになって黒のボールペンで□□□で示す枠内に標準字体で明確に書き、提出の際はなるべく折り曲げないようにし、ヤむをえない場合には折り曲げマーク▶◀線のところで折り曲げていただきますよう御協力をお願いします。

詳しいことは、三重県雇用保険課、三重県労働基準局、最寄りの労働基準監督署、又は公共職業安定所におたづね下さい。

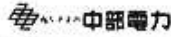
三重県雇用保険課
三重 労働基準局





いつかは消えます、石油の火。
 限りあるエネルギー、石油。
 これをば、ますます大切に使うべきではありません。
 いま中部電力も石油火力への依存を減らすため、
 原子力を中心とした火力の再開発、
 LNG火力の導入、水力の見直しなど、
 エネルギー源の多様化をすすめています。

脱石油、その主力は原子力です。



訃報

昭和56年度において、不幸にして物故されました会員はつぎの方々でした。
 謹んで故人のご冥福をお祈り申しあげます。

- 56・7・14 富田地区 伯平野電気商会 平野 勝氏 (69才)
- 56・7・26 桑名地区 小林電気工業所 小林 健三氏 (44才)
- 56・10・20 桑名地区 平和電機工事部 内山 貞夫氏 (73才)
- 57・2・6 員弁地区 勢電電気機 松岡 清吉氏 (67才)
- 56・5・8 鶴方地区 株式会社 鶴志摩電化センター 鈴木 生治氏 (57才)
- 56・6・22 伊勢地区 浜田電機店 浜田 利安氏 (63才)

ライトカプセル

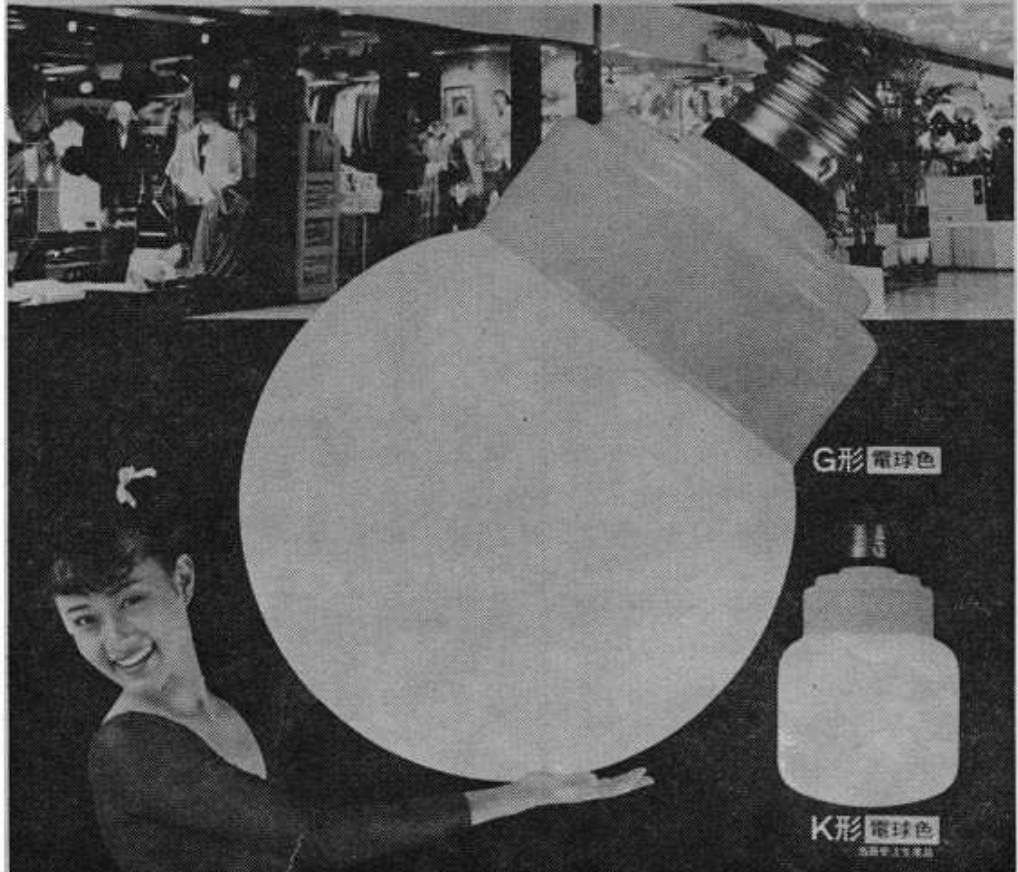
新製品

ダブルボール口金形蛍光灯

蛍光灯

G形 ¥2,300 K形 ¥2,500

電球ソケットで使えるライトカプセルに新タイプ登場！
 消費電力13Wながら、パナボール電球40Wより明るく、約3倍の長寿命です。



松下電器産業株式会社
 中部設備機器営業所三重出張所
 四日市市津島町四番五号(住友ビル内)
 TEL 0594-31-0101(代)